

遅まきながら ヒエ退治!

こうなる前に!!



後次発生のヒエにも!!



直播水稻にも使えます!



製剤 (実物大)

豆まき感覚、カンタン除草



水稻用ノビエ専用防除剤

ヒエクリーン®

1キロ粒剤・豆つぶ® 250

農林水産省登録 第20499号

農林水産省登録 第22586号

特長

- 1. ノビエに対する強力な殺草効果** 水稲栽培において最強害雑草であるノビエ類に対して優れた殺草効果があります。
- 2. 省力化剤(豆つぶ250)** 豆つぶ剤は、10アール当りの散布量が250gと軽量化されており、また、拡散性に優れるため移植水稲では畦からの周縁散布が可能な省力化剤です。
- 3. 広い殺草適期幅** ノビエに対する殺草適期幅が広く、発生前～4葉期(豆つぶ250の直播水稲は3葉期)まで効果があります。
- 4. 長い持続効果** ノビエに対する除草効果の持続期間が長く、ノビエの発生を長期間抑えます。
- 5. イネ・ヒエ間の高い選択性** ノビエの感受性が特異的に高く、イネ・ヒエ間には約100倍の生理的選択性があります。このためイネに対して高い安全性を示します。

■適用雑草と使用方法(1キロ粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り 使用量	本剤の使用回数	ピリミノバックメチル を含む農薬の 総使用回数	使用方法	
移植水稲	ノビエ	移植後15日～ノビエ4葉期 但し、収穫45日前まで	1kg	1回	2回以内	湛水散布または 無人ヘリコプターによる散布	
直播水稲		稲3葉期～ノビエ4葉期 但し、収穫45日前まで					0.5kg～1kg
		は種時	1kg			落水散布または ごく浅く湛水して散布	
		は種直後 は種直後～稲出芽前					

■適用雑草と使用方法(豆つぶ250)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り 使用量	本剤の使用回数	ピリミノバックメチルを含む 農薬の総使用回数	使用方法
移植水稲	ノビエ	移植後15日～ノビエ4葉期 但し、収穫45日前まで	250g	1回	2回以内	湛水散布、 湛水周縁散布または 無人ヘリコプターによる 散布
直播水稲		稲3葉期～ノビエ3葉期 但し、収穫45日前まで				湛水散布または 無人ヘリコプターによる 散布

■上手な使い方

○移植水稲(1キロ粒剤・豆つぶ250)

●気象条件や圃場条件により、ノビエの発生時期や生育スピードが異なる場合がありますので、目安として移植後15日～ノビエ4葉期までの散布適期に散布してください。

初期剤または一発処理除草剤の散布

散布適期
(但し、収穫45日前まで)

■注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- ノビエの発生前から4葉期(豆つぶ250の直播水稲は3葉期)に有効なので時期を失しないように散布してください。
- 苗の植付けが均一となるように、代かき及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 湛水散布の際は、水の出入りを止めて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ってください。散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください(1キロ粒剤)。
- 散布の際は、やや深めの湛水状態(水深5～6cm)にして水の出入りを止めてください(豆つぶ250)。

- 湛水散布の場合は田面に散布し、また、湛水周縁散布の場合は、水田周縁部に沿って帯状に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください(豆つぶ250)。
- 葉類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、拡散が不十分になるおそれがあるため、周縁散布をさけ、本田内で、水田全面に散布してください(豆つぶ250)。
- 以下のような条件下では薬害の生じるおそれがあるので使用をさけてください。
・砂質土壌の水田及び漏水田(減水深が2cm/日以上)
・軟弱な苗を移植した水田
・極端な浅植えの水田及び浮き苗の多い水田
- 直播水稲に使用する場合は以下に注意してください。
・稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
・稲の出芽後から3葉期未満では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください(1キロ粒剤)。
・稲の3葉期以降に使用する場合は、除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布してください。
- 梅雨期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので、使用をさけてください。
- 散布後の数日間に著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがありますが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。
- 吸湿性があるので、散布時に降雨の場合は濡れないように注意して散布してください。濡れた手で扱わないでください。また、開封後は早めに使用してください(豆つぶ250)。
- 散布した水田の田面水を他の作物に灌水しないでください。
- せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2018年10月現在の知見に基づいて作成されております。1604(18-10)

自然に学び 自然を守る

クミアイ化学工業株式会社

本社：東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL03-3822-5036
ホームページ <http://www.kumiai-chem.co.jp>